



議会だより

千早赤阪

ちはやあかさか

特集：決算特別委員会質疑
副村長インタビュー



目次

- P2 議決結果
- P3 議長コラム、今月の表紙など
- P4 決算特別委員会質疑
- P5 副村長インタビュー
- P6～11 一般質問
- P12 ぎかいの窓、雑感、次回定例会の予定

発行 千早赤阪村議会 / 編集 議会広報編集委員会



9月定例会 議決結果

○可決・認定された案件（賛成5人、反対0人、欠席 中野議員）

議 案 名	主 な 内 容
令和7年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	令和6年度国保診療所運営事業赤字補てんによる増
令和7年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第1号）	国庫負担金、府負担金及び支払基金交付金返還金額の確定による増等
動産の取得について	内部情報系（LGWAN系）ネットワーク及び外部情報系（インターネット系）ネットワークで使用する機器、サーバ機器等の調達
令和6年度千早赤阪村一般会計歳入歳出決算認定について	詳細は特集ページを参照
令和6年度千早赤阪村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	
令和6年度千早赤阪村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	
令和6年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
令和6年度千早赤阪村下水道事業会計歳入歳出決算認定について	
職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の改正について	地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、地方公務員の部分休業制度等が拡充されるため、関係条例において所要の改正
事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書について	詳細は3ページを参照

○賛否の分かれた案件

各議員の審議結果 ○・・・賛成 ●・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 議・・・議長	結 果	田 村 陽	井 上 浩 一	中 野 智 子	南 本 斎	畑 智 恵 美	尾 崎 充 宏	建 石 和 則
令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第5号）	原案可決	議	○	欠	○	●	○	○

令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第5号）に対する討論

（反対討論 畑議員）

①国の物価高騰対策の交付金を使った省エネ家電買い替え補助事業では、対象をエアコンと冷蔵庫の買い替えに限定。このような高額家電を必要とする村民は多いとは言えず、住民にとって有効な物価高騰対策ではない。
②教育委員会のコミュニティ・スクール導入のための有識者招へい費用について時期尚早と考える。未来プランゼロ年度として取り組むべきは、学校関係者、地域住民、子どもたちそれぞれの意見を聞き取っていくことである。2点の理由から本補正予算に反対する。

（賛成討論 井上議員）

村として負担すべき経費を含んでいる。また、地方創生臨時交付金を活用した事業補助金や、活性化計画検討のための委託料、新規就農者への補助金、改良工事、教育環境の充実に要する費用も含んでいる。教育費の増額補正は、「テーマ型コミュニティ・スクール」の導入に向けた学校運営協議会の立ち上げ準備に必要な経費。学校運営協議会は地方教育行政の法律により設置が努力義務となっており、必要性が認められる。教育委員会は、地域住民や産官学の識者を招き、国が推奨するテーマ型コミュニティ・スクールを導入予定。私はこの予算に賛成する。

（賛成討論 建石議員）

職員人件費や国の交付金、府補助金を活用した新規事業等であり、行政運営に必要な経費である。また、教育費の増額は、コミュニティ・スクール導入に向けた準備経費である。コミュニティ・スクールは、少人数をメリットにした「未来に向けた学校づくり」を社会総掛りで取り組むもので、村の課題に対応している。このプランは、教育委員会でも議論され承認されている。村内外の識者で構成される協議会で、更に議論が進むと認識し賛成する。

議長コラム

村議会議長 田村 陽



▼千早赤阪村消防団優勝！

9月7日に第69回大阪府消防操法訓練大会が行われ、小型ポンプ操法の部にて見事千早赤阪村消防団が優勝となりました！ 暑い中での連日の訓練（なんと5カ月にわたる訓練！）を経ての優勝となり、感慨も一入（ひとしお）です。出場された選手の皆様をはじめ、関係各位の皆様、長い期間本当にお疲れ様でした！ 優勝おめでとうございます！

▼副村長就任

令和6年7月から空席であった副村長がついに決まりました。新たに副村長に就任された方は西井秀孝氏。大阪府で財政課や市町村局に在籍されていた方で、なんと昭和54年生まれの45歳！お話させていたただいても非常に聡明で物腰の柔らかな方だと感じまし

た。村の課題解決に向けて存分に手腕を振るっていただきたく期待しております！（本号5ページにてインタビューを掲載）

▼コミュニティ・スクール

今議会では改選後初めて賛否が分かれた（結果は賛成4・反対1（欠席1）で可決）。賛否が分かれた議案は補正予算で、テーマ型コミュニティ・スクールが一つの論点となりました。

今、村が進めようとしているテーマ型コミュニティ・スクールとは、企業や大学などと連携して地域の課題について考えていくことで「グローバル（グローバル＆ローカル）」な人材を育成していく試みです。

新たに就任された大門教育長が富田林中学校・高校で行われていた取り組みを本村にも採り入れようとするもので、子どもたちの視野を社会、さらには世界へと大きく広げていくきっかけとなるよう期待しています。

全員協議会

〔令和7年9月17日開催〕

○令和7年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書（令和6年度分）
○貸付期間満了後の道の駅「ちはやあかさか」休憩所賃貸借の取扱い（案）について

※全員協議会とは…地方自治法第100条第12項の規定により、議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行う場として、全員協議会を設けています。（村会議規則第128条より）具体例として、議会独自の協議又は意見調整や執行部との意見調整が挙げられます。

令和7年9月議会で可決された意見書の概要を紹介します

○事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書について

災後に迅速な復興まちづくりを行うには、平時から災害が発生した際のことを想定し、事前に体制と手順の検討、建物や土地利用状況などの必要なデータの整理、復興まちづくりの目標の検討などを行う復興事前準備に取組むことが重要である。

よって政府に対し、事前復興まちづくり計画策定に対して防災・安全交付金による支援や、事前復興まちづくり計画策定を検討・実施する自治体に対する技術的助言などの支援の強化を求める。

今月の表紙



いつも元気な学童の子ども達
皆んなで仲良く遊んでね。

千早赤阪村学童保育連絡会
指導員 矢倉玉美

表紙写真 大募集！！

議会だより「ちはやあかさか」の表紙を飾って
いただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真（複数人でもかまいません）

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ（村議会）にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

一般会計

問 ふるさと納税の寄附件数が大幅増加したとあるが、この事業の評価は。

答 新規導入した楽天サイトでは、寄附件数が172件、寄附額として250万円程度であった。新しいサイトを増やす事は効果的だと考えている。

問 広域消防事業の負担金が増えているが、交付税で措置される金額はいくらか。

答 基準財政需要額の消防費で算定される金額は約1億6,600万円となっている。

問 重点支援地方創生臨時交付金事業費について、充当不可のため交付金を返還したとあるが、なぜこのような事態に。

答 交付決定額の中でも、年度に応じて対象事業と対象外事業と振り分けており、対象外と発覚したために返還した。

問 役場内の簡易郵便局の収支状況は。

答 収入は、基本額と取扱料の合計約678万。支出は、事務費約20万円、人件費約870万円。収支約200万円の赤字である。

問 道路維持の工事請負費で約896万円が不
用となった要因は。

答 既に発注している工事の変更に伴う増額や

道路の安全を確保するための緊急補修費などの予算を確保していたが、最終的には変更も緊急対応もなかったことから不用額となった。

問 森林環境譲与税の基金残高が増えているが、どう評価しているのか。また今後、新たな事業や活用方法等の考えは。

答 基金を活用して間伐搬出利用促進事業や条件不利森林間伐事業などを行った。今後は、森林経営管理制度を進めていきたい。

問 郷土資料館の収蔵品台帳作成業務の整理状況は。

答 美術品と古文書の整理は終了したが、民具はまだ整理できていない。

問 道の駅は売店などを賃借しているだけなのか。それとも道の駅を運営しているのか。

答 道の駅の運営は村が行っている。売店の建物と土地の一部を賃貸借契約しており、貸付団体に売店の経営を認めている。

問 小中学校における英語教育はどのように評価しているのか。また、課題はあるのか伺う。

答 毎年、英語教育専門家の大学教授から、英語授業の様子、教員の指導方法、子ども達

のスピーキングとラーニング等、高評価いただいている。今後も、英語教育を進め、子ども達の英語力を向上していきたい。

国民健康保険特別会計

問 診療所への送迎サービスの仕組みを伺う。

答 無料送迎サービスの予約は診療所の事務員が受付しており、運転手はシルバー人材センターに委託し、自宅付近まで送迎している。

介護保険特別会計

問 デイサービス事業所では、特に幹線道から離れた場所には送迎が来てもらえないと聞いたが、実態は。

答 地区によっては、そのような事例があり、断られるケースがあると把握している。

下水道事業会計

問 料金の改定を行うなど経営改善に向けて検討されたいと監査委員からの意見書があるが。

答 将来的な経営の健全性の確保が必要で課題となっている。今後は、維持管理費、人口減少による使用収入の動向等、総合的に勘案しながら、必要に応じて検討する。

45歳!

西井 秀孝氏に聞く



(聞き手：畑 智恵美 議員)

○西井副村長…虫が好きですね。虫を発見すると観察するので、

○畑議員…趣味や好きなことはありますか。

○西井副村長…年齢は45歳。出身は大阪府の箕面市です。

○畑議員…本日はお忙しいところインタビューをお受けいただき、ありがとうございます。7月に就任され、早3カ月。副村長はどんな方なのか、村民の方々も非常に関心があると思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

早速ですが、プロフィールから簡単に教えていただけますでしょうか。



うちの子ども達には嫌がられています(笑)。実は村に来ることはすごく嬉しくて。虫がたくさんいるじゃないですか(笑)。あとはキャンプや山登りが好きですね。金剛山も何度か虫探しを楽しみながら登山しています。

○畑議員…お話を伺うと自然がお好きなんですね(笑)。私も、村に引越してきた理由の一つとして自然が大好きだったので、共感できます。虫は飼育するのですか。

○西井副村長…そうですね。夏になるとクワガタを2、3匹飼育します。先日、村民の方から立派なクワガタをいただきました(笑)。

○畑議員…そうなんです(笑)。ご自身の強みはどういった所だとお考えですか。

○西井副村長…良い面は自分の感情をコントロールできるところでしょうか。時には、感情的になる事も大事ですが、感情の波を外に出さないことが得意ですね。母親から反抗期は無かったと言われました。悪い面はガツガツしていないところでしょうか。

○畑議員…府職員時代はどのような経験をされましたか。

○西井副村長…介護老人福祉施設関係、児童虐待対策関係、人事課、地方独立法人大阪府立産業技術総合研究所への派遣、財政課、市町村局(市町村の行財政運営支援を行う部署)を経験しました。

○畑議員…初めての議会を経験していかがでしたか。

○西井副村長…無事終了して良かったんです。副村長という立場で至らない点が無かったのかという気持ちがあります。

○畑議員…副村長としての抱負を教えてください。

○西井副村長…村長の施策を最優先に考え、地域公共交通などの村の課題に対して検討するだけでなく、村政を1歩でも先に進めるよう邁進していきたいと思っています。

○畑議員…施策を進めていくうえで大事なことは。

○西井副村長…周りの人の参画を促す力です。そのためには、その施策に対して、説明力や説得力が求められます。施策を常日頃から勉強していないといけない。人と意識を共有するのは簡単ではないので、情熱を持って励んでいきたいと思っています!

○畑議員…本日は興味深いお話ありがとうございました。

畑議員のコメント

副村長とは、1時間程度いろいろなお話をさせていただきました。すべてご紹介できないことが残念ですが、温厚篤実なお人柄で、内に秘めた熱い思いにも触れさせていただきました。今後村のために誠心誠意頑張っていたきたいと思っています。



今後の財政運営について



より財政状況は厳しくなるが、将来に
渡り住民サービスを守っていく



尾崎充宏議員

問 基金を取り崩さず黒字となったが、経常収支比率が悪化し、自主財源も少ない。今後どのような財政運営を考えているのか。

答 令和6年度当初予算では、財政調整基金を取り崩す予定であったが、決算では収支が改善し、取り崩さず黒字となった。歳出は義務的経費が多くを占め、硬直化しており、歳入は依存財源に頼らざるを得ない状況で、自主財源を増やす努力が必要。

問 2町1村未来協議会や南河内基礎自治機能充実強化協議会において、将来の在り方など議論し、市町村合併も含め、あらゆる選択肢について検討していく。

答 将来にわたり住民サービスを守っていくため、村長が先頭に立ち、取り組む。

問 就任して1年。公約

本がクビアカツヤカミキ

桜の木の食害について

中学校の桜の木十数本がクビアカツヤカミキ

食害を受けている桜の木

掲載記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

一般質問

6

基金を取り崩さず黒字となったが、経常収支比率が悪化し、自主財源も少ない。今後どのような財政運営を考えているのか。

答 令和6年度当初予算では、財政調整基金を取り崩す予定であったが、決算では収支が改善し、取り崩さず黒字となった。歳出は義務的経費が多くを占め、硬直化しており、歳入は依存財源に頼らざるを得ない状況で、自主財源を増やす努力が必要。

問 2町1村未来協議会や南河内基礎自治機能充実強化協議会において、将来の在り方など議論し、市町村合併も含め、あらゆる選択肢について検討していく。

答 将来にわたり住民サービスを守っていくため、村長が先頭に立ち、取り組む。

問 就任して1年。公約

本がクビアカツヤカミキ

桜の木の食害について

中学校の桜の木十数本がクビアカツヤカミキ

食害を受けている桜の木

掲載記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

一般質問

6

の進捗状況は。

答 村長給料・退職金の減額、紙おむつや育児用ミルクの購入費用助成、高齢者のごみ出し支援、子育て世帯等新築マイホーム取得費用の拡充など実施。実施に至っていない事業も、財政状況等を踏まえ取り組む。

問 副村長は就任されて2カ月。どのように村づくりに邁進されるのか。

答 大阪府では、高齢介護や児童虐待対策などの福祉業務、(地独)大阪府立産業技術総合研究所での、産業振興策企画業務を担当。また人事、財政といった内部管理、市町村支援も行った。培ってきた知識や経験、また人脈を最大限に活用し村と府のパイプ役を果たす。

りに食害され危険。早急に対応を。

答 国の補助金を活用し令和4年度から19本を伐採。今後も被害木の伐採を計画的に行い、危険箇所が発見された場合は、随時対応する。

問 今後の予定は。

答 伐採には多額の費用が必要。危険な箇所については、職員で出来る範囲で対応した。国の補助金を活用し、伐採を行い、安全管理に努める。

問 村制施行70周年事業について伺う。

答 令和8年9月30日に村制施行70周年を迎える。これを契機に村の魅力を村内外に発信し、認知度の向上や活性化につなげる。事業内容は、協議しているところで、村全体で

機運を高めながら進める。

問 費用もかかるが、村一丸となって盛り上げるべきかと思うが。

答 地区、自治会をはじめ、各種団体と連携し、村民が一体となり、村の特色や文化、伝統行事などを生かした内容となるよう検討する。広報誌、村ホームページ、SNSなどを通じて、村内外に広く周知する。

掲載記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

一般質問

6



食害を受けている桜の木



契約満了を迎える「道の駅」の今後について伺う



実績報告の検証により、来年度の方針を決定する

中野智子 議員



契約満了を迎える「道の駅」

問 「道の駅」は、本年度で契約満了を迎える。現在は、土、日曜日など村外の観光客は多いが、村内住民の利用率が低い。今後、高齢化する住民が、気軽に利用できる役割を増やすことで、より活用ができるのではないかと考えている。

答 運営形態として、休憩所の土地及び建物を5年契約での貸付となっている。現在、実績報告書の検証を行い、9月までに来年度の方針を決定する考えである。

要望 近隣の「道の駅」と差別化を行い、観光客や村内住民の生活に根付いた場所として活用を要望する。財政状況が厳しい中、大阪府や国補助金に頼るばかりでなく、民間活力の導入の検討を要望する。

高齢者のごみ収集を考える

問 今年度から始まった「ふれあい収集」が住民に対して十分に認知されているのかを伺う。

また、リチウム電池など危険が伴うごみの分別も問題となる。昨年、住民対象の清掃工場のイベントで分別指導が行われたが、村民の積極的参加はなかった。分別に対する対策を伺う。

答 各地区の集積場所までごみの持ち出しが困難な世帯を対象に、自宅前にごみを出す「ふれあい収集」を開始された。ま

だまだ周知が必要と認識している。

分別の啓蒙活動として、南河内環境事業組合と協力し広報誌やホームページで周知を行っている。

要望 ごみの収集に関しては、分別の習慣付けを行い、ごみ対策の必要性を自覚してもらわなければならない。自治会や住民への積極的指導を行うことを要望する。

児童数の減少による小学校のありかたは

問 過疎地域における児童数の減少が問題視され、一般的な改善策は、統廃合であるが、統廃合への意見を伺う。

答 昨年度に小学校の在り方について、保護者アンケートを行い、この先も少人数となることが明確である。そこで少人数をメリットとした「コミュニティ・スクール」

を導入することで課題解決を図っていく。

問 総合教育会議でコミュニティ・スクールへの取り組みが始まったが、少子化対策がコミュニティ・スクールありきと受け取れる。現状の教育問題の改善が、コミュニティ・スクール未来プランありきで進むことは、賛同できない。目標を掲げることは大切だが、教師、保護者を交えた意見交流が必要ではないか。

答 未来プランは、教育委員会と村長で組織する総合教育会議で進めている。教育内容、適正規模について慎重に協議し、未来プランの具現化を進める。教育についての心配事に関しては、教育委員会、学校で受け付けている。本プランの概要については、然るべきタイミングで然るべき方法で保護者へ伝える。



問

コミュニティ・スクールのメリットは何か

答

識者と地域が知恵を出し合える

建石和則 議員

問 コミュニティ・スクールの役割とプラン策定に至る経緯について、またエリア型でなくテーマ型を導入するメリットについて伺う。

答 コミュニティ・スクールとは、子どもや地域が抱える様々な課題を学校だけに任せるのではなく解決を図っていく役割を担うもの。経緯については、児童・生徒数が少なく、減少し続ける状況の中、少人数をメリットにした「未来に向けた学校づくり」を社会総がかりで、取り組む必要性を強く感じたところ。

テーマ型のメリットとしては、産官学の識者や専門的な人材と地域が知恵を出し合い協働で、義務教育9カ年を通じた新たな教育活動の実践を進めていける。

問 どのようなスケジュールで進めるのか。

答 現在、地域の方だけ

でなく、識者等の人選を進めている。本年度はプロジェクトチームを立ち上げ、先進地の視察を計画している。来年度中の導入を目的としている。準備が計画通り整えば、国、府の補助金も活用できる。

要望 識者、専門家が入ることにより、村の現状からかけ離れたものにならないように要望する。

自動運転バスについて

問 自動運転バスが万博

終了後に南河内地域に導入されるように聞いている。導入までのスケジュールを伺う。

答 11月から乗客なしの実証実験を開始、令和8年度から3年間、乗客乗車の実証実験が開始予定。その後、検証結果を踏まえ導入の判断がされる。

要望 役場が終点と聞いている。中学校下の方転地へのバス停設置を大阪府に働き掛けてもらいたい。

選出し、自主的な運営を行ってもらおう。

村の住宅建築について

問 村域の大部分が市街化調整区域に指定されている。住宅建築の現状を伺う。

答 府と協議し、一定の条件下、市街化調整区域でも開発、建築が可能となる基準を平成29年に創設して、運用している。可能な限り、柔軟な対応を考える。

地域防災計画の改訂について

問 本年度当初予算に地域防災計画改訂業務委託料とあるが、どのような改訂か。

答 村の災害用物資の備蓄方針など予定。

問 避難所運営はどのように行うのか。

答 行政と連携の下、避難者の中から運営委員を

問 平坦地の多くは、農用地で、宅地として活用できるのか。

答 農用地区域からの除外、現況農地の場合は農地転用許可が必要。村では事前相談の段階から農業施策担当と農業委員会が関わり、農振法や農地法の要件整理、府との協議や必要書類の確認を実施。今後も申請者の支援に努める。



体育の授業に臨む児童達



答

南本 齋議員

進めているという進捗状

進めているという進捗状況を回答することを期待し要望とする。

教育行政の認識と課題

問 大門教育長にお尋ねする。

村の教育課題への認識、課題に対しての対策を含めた所信を伺う。

答 コミュニティ・スクール制度を活用した小

掲載記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



井上浩一議員



村長公約の「ライドシェアの検討」は



規制緩和等、動きを見ながら検討する

問 令和8年度から始まる制度だが、村での導入体制等について伺う。

答 事業所との協議中。今年度中に体制を整え、次年度から実施予定。

問 課題や問題点は無いのか。

答 人材確保等、調整がつかない。事業者がない場合、「ひまわり」での実施も考えている。

こども誰でも通園 制度の体制は

問 公共交通空白地域への対応も重要だ。村長公約の「ライドシェアの検討」について伺う。

答 タクシーチケット利用助成制度を実施しているが引き続き検討を進める。ライドシェアは現状で目標等は無いが、規制緩和等、動きを見ながら検討していく。

要望 「共助型ライドシェア」の導入を願う。

史跡保存計画の現状

問 平成12年作成の史跡保存計画の現状を伺う。

答 「保存管理」と「適正な活用」について定めたもの、現在も計画に基づき進めている。

問 25年経過後の進捗はどうか、課題と自己評価を、また、今後保存会との連携等を伺う。

災害対策基本法 への対応

問 法改正が行われたが村での対応と個別避難計画について伺う。

答 物資の備蓄状況の公

AR (拡張現実)

現実世界にデジタル情報（画像・音声・文字など）を重ねて表示する技術。
例：スマホのカメラ越しにポケモンが現れる「ポケモンGO」。

VR (仮想現実)

完全に仮想の世界を作り出し、ユーザーがその中に入り込む技術。
例：ゴーグルを装着してゲームの世界を360度体験する「VRゲーム」。

答 保存管理の住民意識については理解が進んでいる。史跡整備の計画は無い、活用については教育分野や保存会との連携で情報発信に努める。

要望 ARやVR等を活用し、村の財産を有効活用すべき。

問 様式変更とはどんなものか。今までの地区訓練の実績と今後について、現状と計画について伺う。また、福祉との連携は進んでいるのか。

答 様式は必要最小限の内容に簡素化。地区訓練は自主防災組織の計画を村が協力して行う。これまでは避難行動要支援者の訓練は実施していない、総合訓練を機に個別避難計画の理解・推進を働きかける。福祉との連携については、施設との災害協定で避難所の確保に努めている。

要望 個別避難計画の実効性の向上、訓練への要支援者の参加拡充、福祉避難所の受け入れ環境整える。

問 公共施設の維持について、現状を伺う。

答 平成29年に総合管理計画を、その後、マネジメント検討会を設置し個別計画を策定。今年7月検討方針を決定した。

問 その内容と方法について伺う。

答 計画改定を委託した会社を招きヒアリングを行い、特に優先度の高い4施設から進め方針を決めていく。他の施設も常に検証し施設数の最適化を進める。

要望 検討の進捗状況や判断基準を村民にわかりやすく公表を。説明会・意見募集を定期的に設ける。検討会に村民代表・外部有識者の参加を検討、10、20年先を見据えた将来像の提示を要望する。



少人数であることを活かした学校教育の内容とは



中央教育審議会答申の「個別最適な学び」ができる

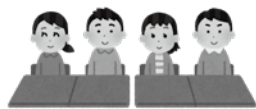
畑 智恵美 議員

〔答〕 小学校では学級会、中学校では生徒

たちのコミュニケーション能力や考える力をはぐくむことにながっていく。そのための教員からの働きかけは。

〔問〕 少人数のメリットを活かした学校教育の内容は。子どもたちに考える力をつけさせるための取り組みで必要なことは。

〔答〕 少人数であるため中央教育審議会答申の「個別最適な学び」が期待できる。また、コミュニケーション・スクール導入で全国の同世代の児童生徒や大



学生、企業人、地域等との関わりを通して考える探究的学習に取り組む。

〔問〕 コミュニティ・スクール導入を待つのではない、今、子どもたちが、目の前の課題に対して、率直に気持ちを出し合えることで、子ども

会など子どもたちの自治能力の育成に努めている。また、児童生徒一人ひとりと話す「教育相談期間」を設け、子どもたちの悩みに向き合っている。教員間の相談体制として、生徒指導会議、ケース会議等において協議する体制がある。

〔要望〕 少人数の最大のメリットは、声の大きい子が代表するやり方ではなく、一人ひとりの存在が見えること。教員の仕事は、人と向き合うソーシャルワーク、目の前のその子をそのまま受け入れることが第一歩であることを自覚して取り組んでほしい。

村の活性化と賑わいづくりのための取り組みは

〔問〕 金剛山周辺地域の賑わいづくりや、道の駅はやあかさかの充実などの「観光・交流の促進」



金剛山登山口

道の駅

〔要望〕 村活性化のための基本計画策定では、地域住民や民間事業者なども含めた策定委員会を作るだけでなく、

地域住民の意見やアイデアを積極的に取り入れるためのワークショップ等を開催し、5年、10年先

施策推進のための具体的な取り組みは。

〔答〕 ちはや園地など金剛山周辺の活性化、道の駅ちはやあかさかの充実とにぎわいづくり、農業振興に取り組むことで、一人でも多くが村を訪れた

を見据えた思い切った取り組みを早急に進めてほしい。

役場におけるジェンダー平等の状況と対応策

〔問〕 「女性職員の活躍推進特定事業主行動計画」の進捗状況は。また、令和3年の女性管理職割合が23%、課長級で34%と

なっている。直近の状況と、課題、対応策は。

〔答〕 男性の育児休業、配偶者出産休暇ともに、令和6年度2人取得で、計画通り進捗。直近の女性管理職の割合は24%（6／25人）で、課長級での割合は28・6%（4／14人）。

〔問〕 人的体制で取りにくい、復帰後の心配から躊躇、やりがいがないので

復帰しない、など無いような職場体制となっているか。また、女性の管理職が24%と少ないがどう

考えるのか。

〔答〕 休職中の体制は、会計年度任用職員の採用や人事異動で対応している。また、管理職になるための必要経験年数が規則で11年。現在該当する女性職員はすべて管理職。経験年数分布が偏り、女性職員の経験年数が増えることで、改善される。

〔要望〕 ジェンダー平等を推進することは、性別問わず、働き続けたいと思える仕事、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場を目指すことである。

村役場では若い職員の離職も多いと聞く。魅力ある職場とは何かという視点を加えて、若い職員の見解も入れながら対応策を検討してほしい。



その他、地震災害対策としての家具転倒防止補助制度の創設について質問、要望した。

ぎ か い の 窓

■令和7年8月22日（金）

大阪府町村議会議長会主催の議員セミナーに村議会は、全議員が参加しました。

・セミナー内容

【テーマ】自治体を取り組む「防災DX」

【講師】関西大学社会学部 教授 永田 肖三氏

【会場】シティプラザ大阪

南海トラフ巨大地震の発生確率が高まっているなか、年々、防災におけるDXの活用が期待されます。防災DXに関するメリット、過去の災害事例を参考にしながら、自治体として取り組むべき行動を学びました。

■令和7年8月26日（火）

北海道新篠津村議会議員8名が行政視察に来村されました。新篠津村は、地域の殆どが石狩平野内にあり、うち約50%が水田となっています。最も生産量が多い品種は、ななつぼしの「JA新しのつ」。非常に人気のお米だそうです。

視察内容は、地域交通網／地域医療の確保維持、移住定住促進事業等、本村といたしても重要な事業ばかりです。当日は、担当職員

から説明の後、活発な意見交換を行い、有意義な機会となりました。



行政視察風景

■令和7年9月7日（日）

第69回大阪府消防操法訓練大会が行われました。

本村消防団の勇姿を見届けるため、村議会は全議員が応援に駆け付けました。消防団は、小型操法ポンプの部門において、見事優勝を果たされました。誠におめでとうございます。

5月からの5か月間に及ぶ厳しい訓練を耐え抜いた消防団の皆様への努力の賜物であり、支えてくださったご家族の皆様のご努力に心から感謝申し上げます。

引き続き、地域の防災力向上にご尽力いただき、村民の皆様が安心・安全に寄与していただきますようお願い申し上げます。本当にお疲れさまでした。そして改めておめでとうございます!! 南本

次回定例会の予定



12月4日(木)から12月19日(金)です。

12月4日(木) 本会議 初日(議案上程)

午前10時

12月5日(金) 本会議 2日目(一般質問)

午前10時

12月10日(水) 村づくり常任委員会及び

予算常任委員会 午前10時

12月19日(金) 本会議 最終日 午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合があります。

本会議及び上記委員会は、傍聴できます。(定員10人)

1階フロアの設置モニターにより議会の様子を見ることができます。

本会議の様子をYouTube配信していますので、ぜひご視聴ください。



議会事務局 TEL 0721-26-7168

議場・議会事務局は、千早赤阪村役場庁舎3階

雑

感

日本では戦後80年となる本年、世界に目を向けると武力による他国への侵攻、宗教や思想の違いによる弾圧等が毎日のように報道され、一触即発の危機ともいわれている情勢が続いている。国内では政治不信が続く、極端な政策を打ち出す政党が躍進し話題となっている。いずれにせよ皆が求める基本になるのは人間

が安心して暮らせる世の中だろう。いま、「アンパンマン」がマイブームでその中に出てくるキーワードがある。「逆転しない正義」だ、正義は人の立場や法律で変化する、まさに戦中戦後の日本だ。逆転しない正義は生命尊厳、平和主義、利他の精神の中にヒントがあるのではないだろうか。一刻も早い戦争・紛争の終結を祈り、行動していきたい。

井上

広報編集委員会

委員長	畑 智恵美	副委員長	中野智子
委員	井上浩一	委員	南本 斎
委員	尾崎充宏	議長	田村 陽

議会だより「ちはやあかさか」

2025年（令和7年）

11月1日発行

〒585-8501 大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分180

☎0721-00081 FAX 0721-18800

千早赤阪村ホームページ <https://www.vil.chihayaakasa.osaka.jp/>